



令和5年12月18日(月)発行  
校長 栗原 友恵  
北九州市小倉北区昭和町16番1号  
HP: [www.kita9.ed.jp/nakashima-e/](http://www.kita9.ed.jp/nakashima-e/)  
TEL: (093) 921-1690

<学校教育目標>  
体・徳・知 調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成  
<目指す子ども像>  
○相手の立場に立って考える思いやりのある子ども  
○すすんで学び、自ら考え、表現する子ども  
○元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども  
<目指す学校像>  
○安全な学校 ○温かい学校  
○笑顔があふれる学校  
○「中島小大好き」と言える学校  
○成長(学習)し続ける学校  
○保護者・地域・関係機関と連携する学校

## NISSAN モノづくりキャラバン授業(5年生)

12月5日(火)の3・4校時、5年生が「日産モノづくりキャラバン」に取り組みました。「日産モノづくりキャラバン」とは、日産自動車为社会貢献の一環として「モノづくりの楽しさ」を実感してもらおうと、福岡県内の小学5年生を対象に行っている出前授業形式の体験型教育支援プログラムです。

6~7人で1つのチームを作り、NISSANフレンド号をチームで協力して組み立てていく擬似組立体験を通して、「改善(カイゼン)活動」を体験しました。チームの各メンバーはそれぞれ「組立(4工程)」「物流」「最終検査」「計測」という役割分担を行い、組み立てました。グループごとにクルマの組立タイムを競う中で、効率的な生産のための創意工夫(カイゼン)を学びました。後半は、モノづくり体験をしました。ナットの締め付けをしたり、ハンマーで金属板をたたいて板金の体験をしたりして、モノづくりを五感(目・耳・手)で楽しみました。

## 租税教室が行われました!(6年生)

私たちが安心して生活していくためには、警察、消防、道路、公園など、私たち個人や民間の団体だけでは行うことができない公共サービスや公共施設が必要です。税金は、これらの公共サービスなどを行うための主要な財源であり、私たち一人一人が税を身近なものと考え、税の意義や役割を正しく理解することも、私たちが社会生活を行う上で重要なことです。

そこで、次代を担う子どもたちに、税がこの社会で果たしている役割の重要性を正しく理解し、関心をもってもらうと、学校に講師をお招きして「租税教室」を実施するなどの租税教育を行っています。

租税教室の目的は、小学校6年生に税金の「意義(必要性)」と「役割(用途)」を正しく理解してもらい、社会の構成員として税金を納め、その使い道に関心を持ち、さらには納税者として社会や国の在り方を主体的に考える自覚を養うものです。

本校では、12月1日(金)にゲストティーチャーにお迎えして、租税教室を行いました。自分たちの周りの様々なことに税金が使われていることなど、たくさんのお話を学ぶことができました。次は中学校3年生の社会科「公民」で詳しく習うことでしょう。おうちの方ともぜひ、税金について話題にしてください。

### 《租税教室の内容》

- ①税の種類(国税・地方税)
- ②この建物には税が使われているの?  
(公共施設と民間施設)
- ③マリンとヤマトの不思議な日曜日  
(租税教育用ビデオの視聴)
- ④身近に使われている税  
(教育費、ゴミ処理費用、警察・消防費)

### 【あらすじ】

大地の妖精コッピとクッピを助けたマリンとヤマト。「何でも願いをかなえよう!」妖精の言葉に2人が考えたことは…? 毎日の暮らしの中

で税がどのようなところに使われているかを学んでいきます。

かけがえない命を守ろう

## スクール救命士(6年生)

12月6日(水)の2校時、6年生が救命救急講習を受講しました。講習を通して「命の大切さ、尊さ」を学んでもらうとともに、災害時等の救急活動において適切な救命処置ができるバイスタンダーを育成し、救命率の向上につなげることを目的として実施しています。受講した子どもたちは熱心に、心臓マッサージやAEDなどの心肺蘇生法の訓練に取り組んでいました。北九州市では、119番に通報をしてから救急車が到着するまでに、およそ8分の時間がかかります。この8分間に、そばにいる方の適切な応急手当が傷病者の救命にとって大変重要となります。「いのち」について考える大切な機会にもなりました。

## 生涯にわたるメンタルヘルスの基礎(6年生)

全国的に若年層の自殺の実態は深刻であることから、北九州市が自殺予防教育に取り組み始めて10年以上になります。すべての小学校6年生と中学校2年生に対し、担任とスクールカウンセラーがティームティーチングの形式で「生涯にわたるメンタルヘルスの基礎(自殺予防教育)」の授業を行っています。本校でも12月8日(金)に、『四本の木』というレジリエンス童話を使って、ピンチをしのぐ力について考えました。ピンチのしのぎ方にはいろいろあるということも学びました。

※レジリエンスとは、「トラブルや困難などの逆境から回復する力」のことです。